

「大崎の南の玄関口・鹿島台は、
鎌田三之助翁生誕150周年記念の
特別講演を企画中です。」

「すれ違うたびに
挨拶があふれる、
あたたかい町です！」

鳴子中学校2年 大友利帆さん



鳴子温泉



鹿島台

「温泉もあるし、ひまわりや菜の花もキレイ！
町のみんなも思いやりにあふれています。
【一サロン丸山 丸山由貴江さん】



古川

「ここはササニシキやひとめぼれの誕生の地。
お米がとてもおいしいですよ。」
松倉代表取締役 松倉善昭さん

笑顔咲く

大崎市



「伝統も感じられ、

美味しいものたくさんある、
良いところばかりの町ですよ。」
竹玉芸館のみなさん



岩出山

2011年3月11日

東北・北関東地域の日常が、
大きく変わってしまいました。

大崎市も大きな被害を受けたことは事実です。

しかしあれから少し時間がたった頃、
大崎は元気と活気を取り戻しました。

そしてその元気を少しでもおすそ分けしようと、
甚大な津波被害をうけた沿岸地域の方々に
二次避難のお声掛けをしたのです。

あの大地震災から約2年の月日がたった今、
大崎市で避難生活を送った沿岸地域の方々も、
仮設住宅での生活や仮設店舗での営業など、
それぞれの環境の変化に負けず
二歩ずつ前へ進んでいます。

そんな、温かく、たくましい笑顔が咲く、
ここに咲く笑顔は、13万7千人と、
ともにふんばる町の方々の笑顔です。

「田尻から遠くに見える舟形山や、
田んぼの上をマガソが飛んでいく様は
とても美しいです。」

松山

「空気、水、お米がおいしく、
醸造発酵の技術に優れているので、
良いお酒がいっぱいあります！」

写真のシラバカマラマン 白旗成典さん



気仙沼市

「約2ヶ月、ホテルオニコウベに
お世話になりました。朝晩の
散歩がとても気持ち良かったです。」

ホテルオニコウベに次避難されていた吉田恵吉さんと娘子さん



田尻

富山陽子さん